

●2023年度● コロナ禍が終わり、対面&オンラインにより 会員団体との協働で多彩な講座を開催

成蹊大学 企画講座 企画展

オーロラと宇宙の天気 —宇宙の嵐と地球周辺の宇宙環境

講師は、成蹊大学副学長で、成蹊学園サステナビリティ教育研究センター所長、同大学理工学部教授の藤原均さん。地球と大気の間で起こる現象“オーロラ”と宇宙の関係や、様々な話題について分かりやすく解説いただきました。



また、関連した企画展として、天文・科学情報スペースで「オーロラと宇宙の天気展2023」も開催しました。オーロラの写真や、宇宙環境についてのパネルなどを展示。来館者へはオーロラの絵葉書をプレゼントしました。(来場者数1,151人)

国立天文台 企画講座

“アストロノミー・パブ”

市民と専門家との間の相互コミュニケーションを目的とした、サイエンス・カフェの天文版です。2023年度は教室とオンラインのハイブリッド方式で開催しました。7月からは後半のパブタイムで飲食を再開し、ビールやつまみを片手に受講者とゲスト、ホストが語らうひと時が復活しました。2024年3月には第200回を迎えた長寿講座です。

国立天文台 ほか 協力講座

星空案内人養成講座

市内の小中学校や三鷹駅前、神代植物公園など各所で開催される観望会、また、星空を解説する講座「みたく星空散歩」等で活躍している星空案内人を養成する講座です。「星空案内のための天文講座」は、2023年で15期を迎えました。

海上技術安全研究所 企画講座 企画展

“船と海の科学”

今回のテーマは「流れによる海洋構造物の振動」。海洋構造物は水や空気の流れにより振動することがあります。講師の星野邦弘さん(同研究所員)に、海洋構造物の流れによる振動問題をわかりやすく解説いただきました。



また、天文・科学情報スペースにおいて、企画展「将来の海洋開発に向けて」を開催しました。同研究所で実施している海洋無人機、洋上風力発電などの最新の研究について、映像やパネルを用いて紹介しました。船、海洋無人機、地球儀型運航マップなどのペーパークラフトも配布され、盛況でした。(来場者数709人)

電気通信大学 寄付講座

私たちの生活を支える人間工学 —ヒトの特性を知り、モノ・環境づくりに活かす

人間工学は、人間の感覚、認知、行動特性を科学的に分析することで、私たちの日々の生活で利用する製品・環境・サービスをより安全に、使いやすく便利にすることを目的とする研究分野です。本講座では水戸和幸教授を講師に迎え、人間中心の設計に基づく製品開発の実際について学びました。

国際基督教大学 寄付講座

“数学のタベ”

数学は新たな視点を加えながら現在も発展を続けています。特に近代以降の数学から数多くの興味深いトピックが生まれました。容易にはアクセスできず、知られていないものも多くあります。本講座では、そのような興味深いトピックの中から一つ選んで、数学の視点や発展の様子などを紹介しています。

東京女子大学 寄付講座

“数学はこんなに面白い！” “数学カフェみたか”

東京女子大学名誉教授の小林一章氏による講座で、「数学はこんなに面白い！」は2008年から、「数学カフェみたか」は2014年から毎月開講しています。シニア層のリピーターが多く、毎回人気の講座です。

東京女子大学 企画講座

近代日韓関係史と歴史認識

森万佑子准教授を講師に迎え、開催しました。近代の日韓関係の歴史を概観しながら、現在の歴史認識問題への解決の糸口を探りました。



専門学校アジア・アフリカ語学院 寄付講座

語学体験講座—入門

アジア・アフリカ地域の言葉の魅力を知る機会として、春と秋に語学体験講座を開講しました。同学院からアラビア語、インドネシア語、ウルドゥー語、韓国語、タイ語、ベンガル語、ロシア語の講師をお招きし、各国・地域のことに触れながら、話したり書いたりすることに挑戦しました。

法政大学 企画講座

玉川をめぐる歴史と景観 —中世武蔵国絵図を読み解く

法政大学江戸東京研究センターが2020年7月に発行した「中世武蔵国絵図」を手掛かりに、2回の座学と現地視察を通じて現代につながる歴史的景観としての武蔵野台地と多摩川を、特に水利の観点から深掘りしました。大和朝廷は何ゆえに武蔵国の国府を「府中」に置いたのか、という問題意識に基づき、現地視察では水系を意識しながら大國魂神社や家康御殿史跡を訪問しました。



大正大学 連携講座

大正大学公共政策学科フィールドワーク I

2022年度に引き続き、大正大学の学生が三鷹ネットワーク大学を拠点にフィールドワークを行いました。当機構と三鷹市の職員から市の概要や取組などを学ぶとともに、実際に三鷹のまちを歩き、住民にインタビューを行いながら地域課題への当事者意識を培い、その解決策を考える力を身に付けました。

杏林大学 公開講演会

「進化を続ける胃がん・大腸がんの内視鏡治療」ほか

杏林大学の特色を活かし、医療系、人文社会科学系の公開講演会・公開講座を実施しています。「進化を続ける胃がん・大腸がんの内視鏡治療」などのテーマでオンラインや教室で開催しました。



東京農工大学 企画講座

猫神様と養蚕—蚕糸業と蚕糸技術の発展

コロナ禍の影響で中止となった講座を3年ぶりに開催しました。講座では、講師である横山岳教授が繭のサンプルや蚕等を持参され、江戸時代から現代に至るまでの養蚕や「猫神様」との関わりについて講義を行いました。

ルーテル学院大学大学院 サテライトキャンパス講座

“高齢者福祉研究”

今日の生活困難の広がりに対応できる高齢者ケアをめざして

ルーテル学院大学大学院の正規講義で、大学院の学生とともに一般市民も受講できる講座です。新型コロナウイルス感染症により高齢者が直面する課題がより深刻化していることから、支援の強化、コミュニティとケアのあるべき姿、地域資源との協働などをテーマに、これからの地域包括ケアについて学びました。

2023・2024年度 三鷹まちづくり総合研究所「まちづくり研究員」

まちづくり研究員事業は、公募により市民等を研究員に委嘱し、調査研究や論文作成を支援することによって、三鷹市のまちづくりの議論と実践をより豊かにしていくことを目指しています。

4年目となる2023年度は12人の研究員が音楽アウトリーチや地域史などの多岐にわたるテーマで三鷹市のまちづくりのための調査研究を行いました。これらの論文を収めた論文集第4号は秋ごろ発行予定です。

2024年度も継続して実施し、研究員とともに三鷹市のまちづくりのために地域の課題解決や価値創造に挑んでいきます。



●2023年度「民学産公」協働研究事業

| | |
|------------------|---|
| 一般社団法人 協同総合研究所 | 協同労働プラットフォーム三鷹(仮)の実装化へー労働者協同組合法施行での協同労働を軸とする、就労創出・研究・学習・人材開発のネットワークづくり |
| 一般社団法人 地域資源研究所 | 地域課題解決を促進する調査リテラシーの醸成についての調査研究 |
| 一般社団法人 ゼロはら | IT技術を活用したいじめの早期発見の仕組みづくりの研究 |
| エム・ティ・プランニング株式会社 | 「みたく温故知新マップ」アプリの開発研究 |
| 林賢【まちづくり研究員枠】 | アートコミュニケーション活動を普及展開させるワークショップや人材養成カリキュラムの研究事業—芸術・文化を介し、多様なコミュニケーションを育むまち三鷹に向けて— |
| 電気通信大学【継続研究支援枠】 | 三鷹市立図書館/調布市立第一小学校・スマート都市農業プロジェクト |